

りそな 米国優先リート証券ファンド2014-12(愛称:イールド・スターⅡ) 設定後の運用状況について

2015年1月15日

平素は、「りそな 米国優先リート証券ファンド2014-12(愛称:イールド・スターⅡ)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

設定後の運用状況についてお知らせいたします。なお、基準日(2015年1月9日)現在、ポートフォリオの組入比率は約94.8%となっております。

《基準価額・純資産の推移》

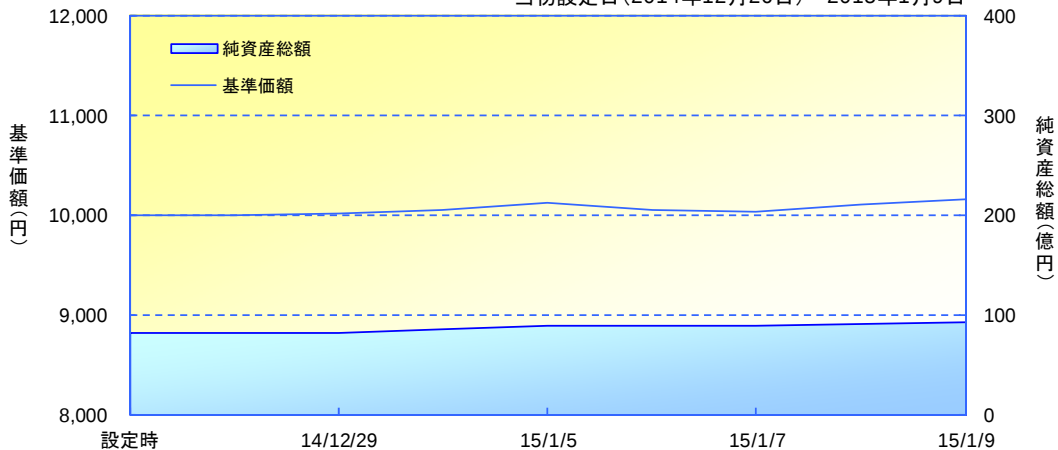
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2015年1月9日現在

基準価額	10,152 円
純資産総額	93億円

期間別騰落率

期間	ファンド	米ドル
1か月間	----	----
3か月間	----	----
6か月間	----	----
1年間	----	----
3年間	----	----
5年間	----	----
年初来	+1.1 %	-0.6 %
設定来	+1.5 %	-0.4 %



※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものです。

※為替の騰落率は、投資信託協会が指定した金融機関によるわが国の対顧客電信売買相場の仲値を採用し、算出しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

《主要な資産の状況》

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成		
資産	銘柄数	比率
外国リート	97	94.8%
コール・ローン、その他		5.2%
合計	97	100.0%

通貨別構成		合計100.0%
通貨		比率
米ドル		98.7%
日本円		1.3%
優先リート ポートフォリオ特性値		
配当利回り		6.6%

優先リート 用途別構成		合計94.8%
用途名		比率
ショッピングセンター		23.3%
分散投資		17.6%
ホテル/リゾート		10.4%
その他商業施設		10.1%
個人用倉庫		8.5%
オフィス		8.3%
モール型商業施設		7.6%
オフィス・産業施設		3.1%
産業施設		2.3%
その他		3.7%

※「配当利回り」は、コーペン&ステアーズ・キャピタル・マネジメント・インク(以下、C&S)によるもの(課税前)であり、

将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

※優先リート 用途別構成の用途名は、FTSE®と全米不動産投資信託協会(NAREIT®)による発行体の分類に基づき、C&Sが作成したものです。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡する「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

組入上位10銘柄					合計30.4%
	銘柄名	優先リート用途名	発行年月日	配当レート(年率)(%)	比率
AMERICAN REALTY CAP PREF F	アメリカン・リアルティ・キャピタルプロパティーズ	その他商業施設	2014/1/3	6.7	4.7%
PEBBLEBROOK HOTEL PREF C	ペブルブルック・ホテル・トラスト	ホテル／リゾート	2013/3/18	6.5	4.3%
INLAND REAL ESTATE PREF B	インランド・リアル・エステート	ショッピングセンター	2014/10/16	6.95	3.9%
NATIONAL RETAIL PPTY PREF D	ナショナル・リテール・プロパティーズ	その他商業施設	2012/2/23	6.625	3.0%
EXCEL TRUST PREF B	エクセル・トラスト	ショッピングセンター	2012/1/31	8.125	2.7%
WEINGARTEN REALTY PREF F	ウエインガーテン・リアルティ・インバスターズ	ショッピングセンター	2007/1/30	6.5	2.5%
DIGITAL REALTY PREF H	デジタル・リアルティ・トラスト	分散投資	2014/3/26	7.375	2.4%
TAUBMAN CENTERS PREF J	トーブマン・センターズ	モール型商業施設	2012/8/14	6.5	2.4%
ALEXANDRIA REAL ESTATE PF E	アレクサンドリア・リアル・エステート・エクイティーズ	オフィス	2012/3/15	6.45	2.3%
PUBLIC STORAGE PREF Y	パブリック・ストレージ	個人用倉庫	2014/3/17	6.375	2.2%

※比率は、純資産総額に対するものです。
※優先リート用途名は、FTSE®と全米不動産投資信託協会(NAREIT®)による発行体の分類に基づき、C&Sが作成したものです。
※銘柄名に付随する末尾のアルファベットは、回数を表します。

《ファンドマネージャーのコメント》 ※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
優先リートの運用委託先であるC&Sのコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

【市場動向】

▶米国優先リート市場は堅調に推移

米国優先リート市場は、当ファンドの設定日以降、堅調に推移しました。
原油価格の下落に歯止めがかからず、投資家のリスク回避的な姿勢が強まり株式市場が世界的に調整する中、米国債券市場では長期金利が大きく低下(債券価格は上昇)しました。
米国優先リート市場は、長期金利の低下によって優先リートの配当利回りの魅力度が相対的に高まったことがプラスに寄与したほか、米国商業不動産のファンダメンタルズの改善や優先リート市場の需給環境の改善などを好感して上昇しました。用途別では、ヘルスケア、その他商業施設などが相対的に良好なパフォーマンスとなりました。

【ファンドの運用状況】

▶設定来騰落率：+1.5%

ファンド設定日(2014年12月26日)から2015年1月9日までのファンド騰落率は、保有銘柄の価格上昇が主なプラス要因となって+1.5%となりました。

▶運用のポイント

ファンドの運用にあたっては、マザーファンドを通じて米国優先リートのポートフォリオを構築いたしました。1月9日現在、優先リートの組入比率は94.8%、組入銘柄数は97銘柄です。
用途別では、ショッピングセンター、分散投資、ホテル／リゾートなどのウエートを高位としました。

【今後の展望・運用方針】

▶今後の展望

米国経済は、好調な企業業績や経済指標が引き続き確認されており、今後も景気回復が継続するものと見込まれます。主要経済指標が市場予想を上回る状況が続けば、利上げ開始時期の前倒し観測が高まる可能性があります。一方で、原油価格の下落や米ドル高の進行などからインフレ圧力が低下していることに加え、世界経済の鈍化懸念や地政学リスクなども勘案すると、一時的に方向感のない展開となる可能性はあるものの、米国長期金利はしばらくの間は低位で推移すると考えられます。
米国リート市場については、堅調な米国経済に支えられて良好なファンダメンタルズが継続すると考えられます。テナントからの需要が堅調である一方で新規物件の供給水準は低い環境下で、優先リートはクレジットの改善からスプレッド(米国債に対する利回り格差)が徐々に縮小していくことが予想されます。

【今後の展望・運用方針(続き)】

➤運用方針

中長期的には金利上昇圧力が意識されますが、優先リートの相対的に高い配当利回りやスプレッドの縮小が価格下支え要因となることが期待されるほか、米国リート市場の良好なファンダメンタルズなども支援材料となり、優先リート市場は引き続き安定的に推移すると考えられます。当ファンドでは、業績が堅調で配当利回りが魅力的な銘柄を中心に銘柄選定を行う方針です。

以 上

りそな 米国優先リート証券ファンド2014-12(愛称:イールド・スターII)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 米国の優先リートに投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 米国の優先リートに投資します。
 - ・為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。(優先リートとは)
 - ◆企業が発行する優先株に相当し、議決権がない代わりに、普通リートより配当の支払いが優先され、また破綻時の弁済が上位にあります。
 - ◆通常、額面に対する配当率があらかじめ決められています。
 - ◆一定期間経過後、発行体が額面で償還できる権利がついています。
 - ◆このため、一般的に普通リートより高い利回りになる傾向があります。また、普通リートと比較して価格変動が穏やかになる傾向があります。
 2. 優先リートの運用は、コーペン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インクが行ないます。
 3. 「分配金+基準価額」が一度でも11,500円を超えた場合、安定運用に入った後、繰上償還します。
 4. 当ファンドの購入の申込みは、平成27年1月30日までの間に限定して受付けます。
 5. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - ・マザーファンドは、「米国優先リート・マザーファンド」です。
- ※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「リートの価格変動(価格変動リスク・信用リスク)」、「優先リートへの投資に伴うリスク(繰上償還に伴うリスク・配当の繰り延べリスク)」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	販売会社が別に定めるものとします。 購入時の申込手数料の料率の上限は、 2.7%(税抜2.5%) です。
信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用 (信託報酬)	毎日、信託財産の純資産総額に対して 年率1.6632%(税抜1.54%) ※運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・ 手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、 資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 ※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、 上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社:

設定・運用:



りそな銀行

埼玉りそな銀行

近畿大阪銀行

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 株式会社りそな銀行
登録金融機関
近畿財務局長(登金)第3号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人金融先物取引業協会

株式会社埼玉りそな銀行
登録金融機関
関東財務局長(登金)第593号
日本証券業協会
一般社団法人金融先物取引業協会

株式会社近畿大阪銀行
登録金融機関
近畿財務局長(登金)第7号
日本証券業協会

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会